

2025年3月 第2四半期（中間期） 決算概要

2025年3月期 第2四半期決算のトピックス

- 当第2四半期より、買収したデシフェラ社の7-9月の3か月分の損益（売上、売上原価、研究開発費、販売費及び一般管理費など）が当社の連結財務諸表に加わります。
- 当第2四半期は、引き続き暫定的な会計処理として、買収対価と純資産との差額を全額“のれん”として計上しています。第3四半期決算にて、公正価値評価を経て、取得時点における無形資産などを計上する予定です。
（第2四半期実績では買収で認識する無形資産の償却費は含んでいません。）
- 当社は2025年3月期より、本業での当社の業績をお示しするため、コア財務指標の開示を行います。当第2四半期では、コアベースでの通期連結業績予想をお示しします。なお、2025年3月期通期のコアベースでの業績予想につきましては、2025年3月通期のフルベースの業績予想から買収に係る無形資産の償却費の暫定値などを控除した予想となっています。
- 2022年12月に米国Equillium社と締結した「itolizumab」に係る独占的オプション権付アセット買収契約について、本年10月、戦略上の理由により、オプション権を行使しないことを決定しました。



売上収益
2,403億円

前年同期比
184億円減少
(▲7.1%)



製品商品売上 1,633億円

前年同期比34億円増加 (+2.1%)

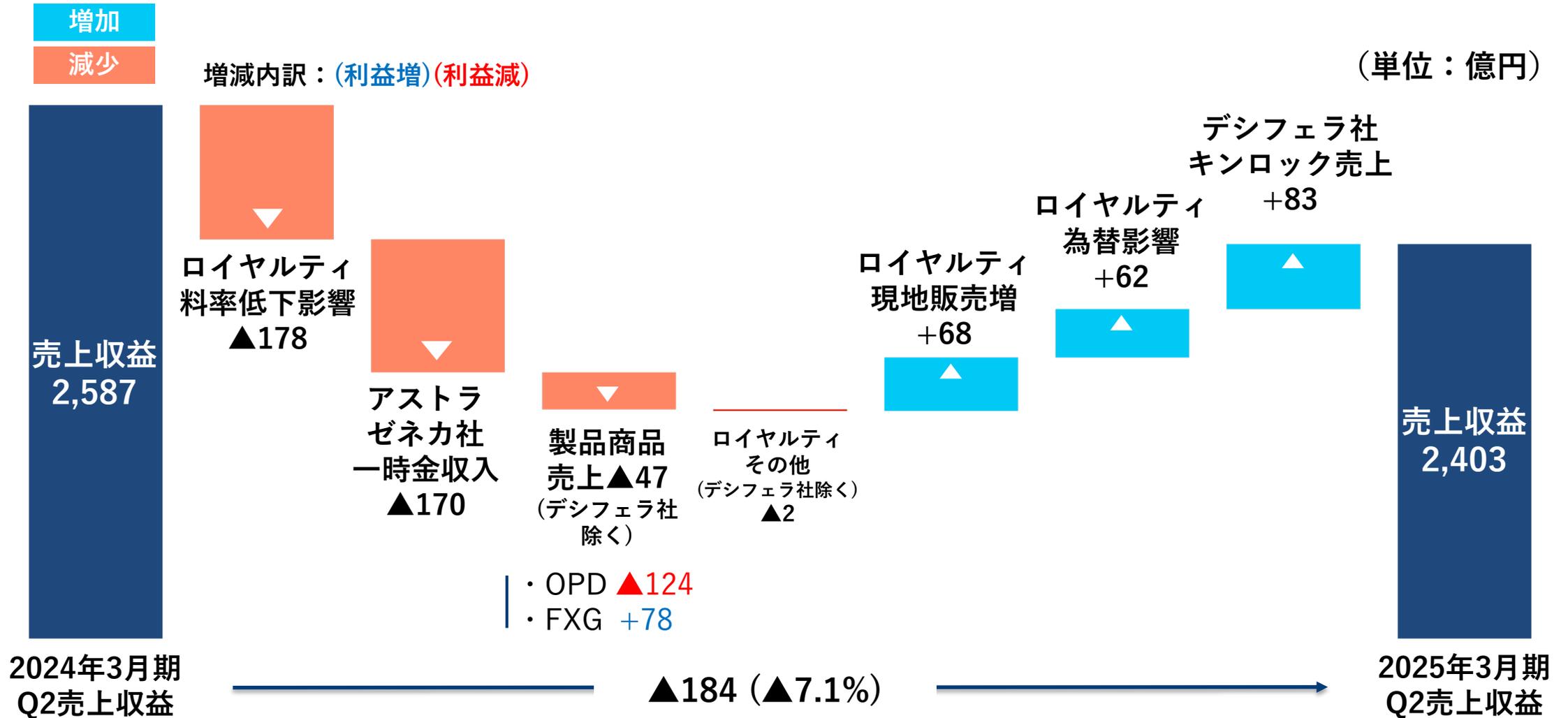


ロイヤルティ・その他 770億円

前年同期比218億円減少 (▲22.0%)

2025年3月期 第2四半期 売上収益の内訳

- ・ フォシーガ錠の売上が拡大した一方、オプジーボの薬価引き下げの影響により、売上減。
- ・ BMS社からのロイヤルティ収入は増加したが、メルク社などからの料率低下に伴い減少。



2025年3月期 第2四半期 製品別売上(国内)

億円	2023年度 Q2実績	2024年度 Q2実績	対前年同期間		2024年度 予想*
			増減額	増減率	
売上収益合計	2,587	<u>2,403</u>	▲184	▲7.1%	4,500
製品商品売上	1,599	<u>1,633</u>	34	2.1%	3,040
ロイヤルティ・その他	988	<u>770</u>	▲218	▲22.0%	1,460

内訳 製品商品売上(国内)	2023年度 Q2実績	2024年度 Q2実績	対前年同期間		2024年度 予想*
			増減額	増減率	
オプジーボ点滴静注	750	<u>626</u>	▲124	▲16.5%	1,250
フォーシーガ錠	359	<u>437</u>	78	21.7%	830
オレンシア皮下注	130	<u>135</u>	5	3.5%	270
グラクティブ錠	108	<u>96</u>	▲12	▲11.2%	185
ベレキシブル錠	50	<u>52</u>	2	3.7%	100
カiproリス点滴静注用	46	<u>46</u>	▲0	▲1.0%	95
パーサビブ静注透析用	41	<u>42</u>	0	0.7%	85
オンジェンティス錠	31	<u>38</u>	7	21.4%	75

* 2024年5月9日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

・国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。

・海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

2025年3月期 第2四半期 製品商品売上(海外)/ロイヤルティ



億円	2023年度 Q2実績	2024年度 Q2実績	対前年同期間		2024年度 予想*
			増減額	増減率	
売上収益合計	2,587	<u>2,403</u>	▲184	▲7.1%	4,500
製品商品売上	1,599	<u>1,633</u>	34	2.1%	3,040
ロイヤルティ・その他	988	<u>770</u>	▲218	▲22.0%	1,460

内訳 製品商品売上 (海外)	2023年度 Q2実績	2024年度 Q2実績	対前年同期間	
			増減額	増減率
オプジーボ	61	<u>65</u>	4	6.9%
キンロック	—	<u>81</u>	—	—

内訳 ロイヤルティ・その他	2023年度 Q2実績	2024年度 Q2実績	対前年同期間	
			増減額	増減率
オプジーボ	474	<u>564</u>	90	19.1%
キイトルーダ	256	<u>128</u>	▲128	▲50.0%

* 2024年5月9日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

・ 国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。

・ 海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。



営業利益
559億円

前年同期比
412億円減少
(▲42.4%)



売上収益 2,403億円
前年同期比184億円減少 (▲7.1%)



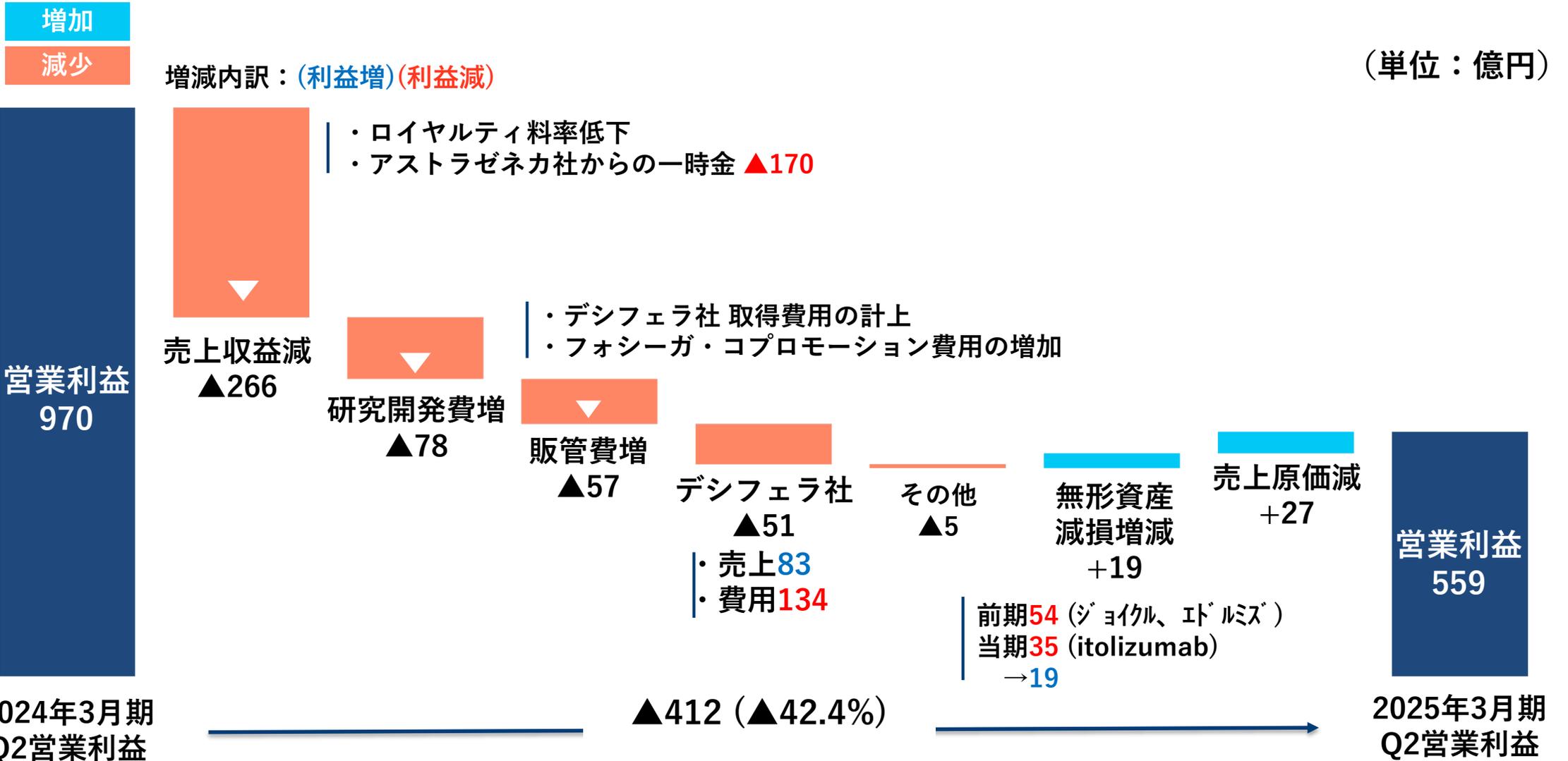
研究開発費 688億円
前年同期比194億円増加 (+39.4%)



販売費および一般管理費 584億円
前年同期比108億円増加 (+22.7%)

2025年3月期 第2四半期 営業利益の増減

- 売上原価が減少した一方、研究開発費、販管費が増加したことにより、前年同期比412億円減少の559億円。



2025年3月期 第2四半期 連結業績

億円	2023年度 Q2実績	2024年度 Q2実績	対前年同期間		2024年度 予想*
			増減額	増減率	
売上収益	2,587	<u>2,403</u>	▲184	▲7.1%	4,500
売上原価	648	<u>569</u>	▲79	▲12.2%	1,130
研究開発費	494	<u>688</u>	194	39.4%	1,120
販管費 及び一般管理費	476	<u>584</u>	108	22.7%	1,000
その他の収益	9	<u>6</u>	▲3	▲36.0%	5
その他の費用	8	<u>9</u>	1	10.2%	35
営業利益	970	<u>559</u>	▲412	▲42.4%	1,220
税引前中間利益	993	<u>546</u>	▲447	▲45.0%	1,230
中間利益 (親会社所有者帰属分)	745	<u>416</u>	▲329	▲44.1%	910

前年同期比増減内訳

売上原価 ▲79億円

主な要因

- 前年に計上した販売権の減損損失による反動減 ▲54億円

研究開発費 +194億円 研究開発費率：28.6%

主な要因

- 研究費用・臨床試験に係る開発費用の増加
- デシフェラ社の研究開発費計上
- itolizumabに係る減損損失 ▲35億円

販売費及び一般管理費 +108億円

主な要因

- フォシーガコ・プロモーション費用の増加
- デシフェラ社の販管費計上
- デシフェラ社買収に係る費用

* 2024年5月9日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

コア指標の導入について

<コアベース業績導入の背景>

従来より、当社のIFRSのフルベースの業績には、本業に該当しないあるいは一過性の取引の影響が含まれておりました。また、この度のデシフェラ社の買収に伴い、今後は買収に伴う無形資産の償却費等が発生することが見込まれております。このため、当社は2024年度より、本業での当社の業績をお示しするため、コア財務指標の開示を行います。

<コアベース業績の定義>

コア財務指標はIFRSのフルベースの指標から、当社事業の本質的な業績と関連がない項目や単年度の発生など一過性の項目を控除して算出します。

調整項目には、買収や導入により獲得した無形資産から生じる償却費、減損損失、訴訟等による賠償または和解費用、災害による損失などが含まれます。



売上収益
4,850億円
前期比177億円減少
(▲3.5%)



製品商品売上 3,330億円
前期比160億円増加 (+5.1%)



ロイヤルティ・その他 1,520億円
前期比337億円減少 (▲18.1%)

* 2024年5月9日に公表しました2025年3月期通期の連結業績予想を修正しております。

2025年3月期 通期予想 製品商品別売上

内訳 製品商品売上（国内）	2023年度 実績	2024年度 予想	対前期	
			増減額	増減率
オプジーボ点滴静注	1,455	<u>1,250</u>	▲205	▲14.1%
フォシーガ錠*	761	<u>890</u>	129	16.9%
オレンシア皮下注	258	<u>270</u>	12	4.5%
グラクティブ錠	212	<u>185</u>	▲27	▲12.7%
ベレキシブル錠	102	<u>100</u>	▲2	▲2.1%
カiproリス点滴静注用	91	<u>95</u>	4	3.9%
パーサビブ静注透析用	82	<u>85</u>	3	3.3%
オンジェンティス錠	63	<u>75</u>	12	18.8%

* 「フォシーガ錠」について、前回公表予想比60億円増加の890億円を見込んでおります。

内訳 製品商品売上（海外）	2023年度 実績	2024年度 予想	対前期	
			増減額	増減率
オプジーボ	120	<u>135</u>	15	12.5%
キンロック	—	<u>235</u>	—	—

* 国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。

* 海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。



**営業利益
820億円**

前期比779億円減少
(▲48.7%)

**コア営業利益
1,100億円**



売上収益 4,850億円

前期比177億円減少 (▲3.5%)



研究開発費 1,470億円

前期比348億円増加 (+31.0%)



販売費および一般管理費 1,230億円

前期比227億円増加 (+22.7%)

2025年3月期 通期予想(対前年度比)

億円	2023年度 実績	2024年度 今回修正予想	増減額	増減率
売上収益	5,027	4,850	▲177	▲3.5%
売上原価	1,271	1,300	+29	+2.3%
研究開発費	1,122	1,470	+348	+31.0%
販管費及び一般管理費	1,003	1,230	+227	+22.7%
営業利益	1,599	820	▲779	▲48.7%
コア調整額	—	280	—	—
コア営業利益	—	1,100	—	—
税引前利益	1,637	815	▲822	▲50.2%
当期利益 (親会社所有者帰属分)	1,280	580	▲700	▲54.7%
コア当期利益	—	810	—	—

前期比増減内訳

売上原価 +29億円 (+2.3%)

主な要因

- ・前年に計上した販売権の減損損失による反動減
- ・キンロックに係る無形資産の償却費など 約150億円

研究開発費 +348億円 (+31.0%)

主な要因

- ・デシフェラ社に係る研究開発費 +260億円
- ・LigaChem BioScience社とのライセンス契約

販売費及び一般管理費 +227億円 (+22.7%)

主な要因

- ・デシフェラ社に係る販売費及び一般管理費 +150億円
- ・デシフェラ社買収に係る取得関連費用
- ・フォシーガコ・プロモーション費用の増加

コア調整額

主な要因

- ・キンロックや導入品に係る無形資産の償却費など
- ・itolizumabに係る減損損失 35億円

・業績予想における下期の為替レートは、1ドル=145円で想定。為替感応度は1円の円安で売上収益が4億円増加、営業利益が2億円減少を想定しています。

2025年3月期 通期予想(対期初予想比)

期初業績予想比400億円の減益(営業利益)は、期初時点で未織り込みであったデシフェラ社の買収によって生じた費用およびLigaChem BioScience社とのライセンス契約といった、オプジーボの特許切れを乗り越え当社がグローバルスペシャリティファーマに成長する為の大型投資に起因するもの。この要因を除けば、期初業績予想と同水準の利益を確保できる想定。

億円	2024年度 期初業績予想	2024年度 今回修正予想	増減額	増減率
売上収益	4,500	4,850	+350	+7.8%
売上原価	1,130	1,300	+170	+15.0%
研究開発費	1,120	1,470	+350	+31.3%
販管費及び一般管理費	1,000	1,230	+230	+23.0%
営業利益	1,220	820	▲400	▲32.8%
コア調整額	—	280	—	—
コア営業利益	—	1,100	—	—
税引前利益	1,230	815	▲415	▲33.7%
当期利益 (親会社所有者帰属分)	910	580	▲330	▲36.3%
コア当期利益	—	810	—	—

営業利益400億円減少の主な内訳

売上収益 + 350億円

主な要因

- ・キンロック +235億円

売上原価 + 170億円

主な要因

- ・キンロックに係る無形資産の償却費など 約150億円

研究開発費 + 350億円

主な要因

- ・デシフェラ社に係る研究開発費 +260億円
- ・LigaChem BioScience社とのライセンス契約

販売費及び一般管理費 + 230億円

主な要因

- ・デシフェラ社に係る販売費及び一般管理費 + 150億円
- ・デシフェラ社買収に係る取得関連費用